令和４年度

事業報告書

令和５年３月

特 定 非 営 利 活 動 法 人　　ま ち づ く り ネ ッ ト 東 近 江

目　次

第１章　背景・目的 4

１-１．　背景 4
１-２．　目的 5

第２章　情報収集及び提供に関する業務 6

２-１．　市民活動に関する機関誌の発行及び配布（年３回以上、配布は市が協力） 6
２-２．　活動団体のホームページ制作等の情報公開及び発信の支援 7

第３章　相談及びコンサルティングに関する業務 8

３-１．　窓口や電話による多様な相談への対応 8
３-２．　各種の相談要請に対するアドバイザーの派遣や専門家の仲介 9
３-３．　各種 IT 化への相談支援 10

第４章　人材育成及び研修に関する業務 11

４-１．　資金獲得、団体運営等に関する講座の開催 11
４-２．　未来に向けたまちづくりの担い手育成に関する講座の運営支援 13
４-３．　コミュニティビジネスの起業及び経営に関するセミナーの開催 14
４-４．　コミュニティビジネスの事例収集と紹介 15
４-５．　中間支援組織の人材育成及び能力開発に関する研修の受講 16

第５章　活動資金の調達支援に関する業務 17

５-１．　各種助成金や補助金の情報提供と申請事務等の指導及び支援 17
５-２．　東近江市わくわく市民活動支援補助金審査会の運営協力及び採択団体の支援 17
５-３．　事業指定寄付制度「にじまちサポーターズ」の運営及び普及 18
５-４．　「にじまちサポーターズ」の評価と持続可能な制度構築に向けた検討 17
５-５．　多様な資金調達手法の調査及び研究 25
５-６．　公益財団法人東近江三方よし基金との連携 26

第６章　交流促進と協働推進に関する業務 27

６-１．　多分野連携で市民活動・地域活動を活性化するための交流会の開催 27
６-２．　まちづくりに関わる多様な主体間の連携及びネットワークの構築 27
６-３．　活動団体や事業者と行政との協働の促進及びコーディネート 28
６-４．　ボランティア希望者と受け入れ団体のコーディネート 28
６-５．　市民活動を促進するフォーラムやイベントの開催に向けた調査、検討、企画等 29
６-６．　東近江市協働ラウンドテーブル運営委員会の運営 29
６-７．　小規模多機能自治の推進に係るまちづくり協議会等への運営支援 35

６-８．　地域共生社会の実現に向けたテーマごとの中間支援機能との連携 36

第７章　その他市民活動の促進に関する自主業務.....37

７-１．　視察受入れ 37

７-２．　休眠預金助成金活用事業..... 38

第８章　評価と課題.....39

８-１．　評価と課題 39

第１章 背景・目的

1-1． 背景

（1） 背景

2011 年２月に出された、東近江緑の分権改革研究会報告書によると、「日本の縮図とも言える東近江市でも、少子高齢化や地域経済の低迷など様々な課題に直面している。これらの課題に対処するためには、行政が縦割りで個々の課題に取り組むのではなく、市民生活の視点に立って組織横断的に課題に取り組み必要がある。その取り組みの一部として、東近江市においては、食・エネルギー・ケアといった市民生活の視点から見た分野が地域において自立している、持続的発展が可能な共生の仕組みづくりを目指している。そして、食・エネルギー・ケアが地域において自立する社会は、これらの分野に関わるヒト・モノ・カネが地域で循環している社会と言い換えることもできる。」となっている。

このような背景を鑑み、地域課題解決をめざす市民活動の支援を行う。

１-２．　目的

（１）　目的

市民活動団体の育成と交流を促進し、地域の課題解決を図る市民公益活動を支援する等の中間支援機能の充実をはかることにより、市民と市の協働によるまちづくりを推進するとともに、活力ある地域社会の実現に寄与することを本事業の目的とする。

（２）　基本方針

・ＮＰＯ、ボランティア、まちづくり協議会などが行う市民公益活動を積極的に支援するとともに、市民活動を促進する。

・東近江市のまちづくりに関わる市民活動団体・地縁団体、事業者・行政・学校などの多様な主体間の連携・ネットワーク構築のための交流の促進と協働の推進を支援する。

・人、モノ、情報など、地域の資源を活用してビジネス手法を用いて地域の課題解決を図る活動（コミュニティビジネス）を支援する。

（３）　各業務内容に応じた目的・事業内容

1. 情報収集・提供に関する業務
2. 相談・コンサルティングに関する業務
3. 人材育成・研修に関する業務
4. 活動資金の調達支援に関する業務
5. 交流促進と協働推進に関する業務
6. その他市民活動の促進に関する自主業務

第２章　情報収集及び提供に関する業務

本章では、市民活動・地域活動に関する様々な情報収集を行い、様々な媒体を利用して情報発信・情報提供を行うとともに、市民活動団体の情報公開に対する支援を行う。

２-１．　市民活動に関する機関誌の発行及び配布（年３回以上、配布は市が協力）

2020 度から、季刊紙として春、夏、秋、冬の年４回発行。また、滋賀県立大学の授業として、学生と一緒に取材・編集を行い、若者の視点を取り入れながら特別号を発行した。

コンセプトは、東近江市のいいところやいいひといいものを紹介する冊子。各号のテーマに合わせて作成を行った。

市内設置店舗：88 ヶ所（市内外の事業所及び、公共施設）

広報誌の目的

目的１	若い世代が自分の住んでいる地域に対して興味をもつ
目的２	東近江市で行われている様々な活動を知ってもらう

（1）　内容について

編集会議で各号のテーマを決めし、取材先の選定、役割分担を行い取材する。

（2）　各月ごとのテーマ

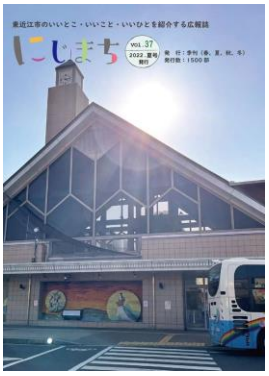
以下の表の通りテーマを決め、編集会議で具体的な取材先を決めていく。

テーマの検討

発行月	テーマ
No36（特別号）	特別号：五個荘まち歩き（県立大学生作成）
No37	八日市駅周辺のまち歩き
No38	ニュースポーツ
No39	習い事・体験

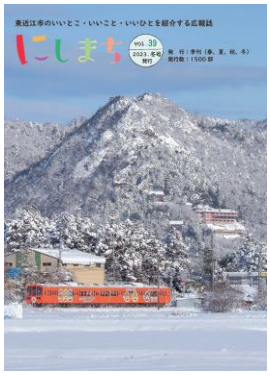
（3）　各号の表紙

No.36



No.37

No.38



No.39

２-２． 活動団体のホームページ制作等の情報公開及び発信の支援

2022 年度も、団体から依頼のチラシ作成と活動団体の情報発信を行う。まちづくりネット東近江の公式 SNS も着実にフォロワーが増えてきている。またＳＮＳの作成やＨＰの作成支援などもおこなった。紙媒体だけでなく、ＷＥＢを使った情報発信が見直されている。

（1） 当団体でチラシ作成や HP、SNS の作成などを行った件数

作業件数

作成内容	件数
チラシや冊子等の紙媒体作成	33 件
HP や SNS の作成及び更新	２件
動画の作成	１件
Salesforce の導入支援	３件

（2） ＨＰや各 SNS などで紹介した件数

情報発信件数

掲載　場所	件　数
まちづくりネット東近江のＨＰ	70 件
まちづくりネット東近江の Facebook	139 件
まちづくりネット東近江の Twitter	17 件
まちづくりネット東近江の Instagram	114 件
まちづくりネット東近江の YouTube	公開 5,限定３件
	総計 350 件 （昨年 143 件）

（3） 東近江ケーブルネットワーク（株）（スマイルネット）との連携

2022 年度から、スマイルネットで放送されている「e―おうみ NOW」の中で、市民活動の情報を紹介する「にじまちだより」が月に１度コーナーとなり、市内の各事業を紹介。当団体は、毎月紹介される団体の紹介や連絡等を行う。

にじまちだより放送団体一覧

放送月	放送団体
５月	東近江さとやま Nannies
６月	東近江トレイル（五個荘地区まちづくり協議会）
７月	食育の会もぐもぐの会
８月	はちの日カフェ（八日市地区まちづくり協議会）
９月	あいとう通学応援バス
10 月	子育てサークル（湖東地区まちづくり協議会）
11 月	Mais Latino

12 月	子ども食堂「なかのごはん」（中野地区まちづくり協議会）
1 月	おかげ SUN のとが和
2 月	里山整備・桜並木の整備（玉緒地区まちづくり協議会）
3 月	NPO 法人　里山保全活動団体　遊林会

第３章 相談及びコンサルティングに関する業務

本章では、市民活動・地域活動の実施・参加に関する相談、団体の組織化・運営・法人化等に関する各種の相談と支援を行う。

３-１． 窓口や電話による多様な相談への対応

（1） 窓口・電話による相談への対応について

相談者の内容、対応したことをデータベースである「セールスフォース」に入れ、スタッフ全員で共有を行い、今後の相談に生かすことができるようにしている。また、記録を集計し、まちづくりネット東近江が行う支援のあり方や、期待される役割等を検討するデータとしても活用している。

【実績】 総相談件数 １31 件（昨年１44 件）

相談総数時間 153.5 時間（昨年 180.5 時間）

相談内容は、コロナ禍では情報発信の相談が多くなっていたが、今年度は、事業計画やコーディネートが以前よりも増加傾向にある。計画の段階で相談に来たり、様々な課題を解決してもらえるマッチング先をまちづくりネット東近江が把握できるようになったことで、当団体の認知度が向上したと考えられる。今後は、より専門的な相談が増えてくると思うので、スタッフのスキルの向上や、専門家などとのつながりをより一層増やしていきたい。

相談内容

大分類	小分類	件数
1、法人の設立	設立の手続きと流れなど	0
2、法人の解散	法人の解散	1
3，コーディネート	紹介やマッチングなど	15
4，協働	当団体との協働に関すること	5
5，会計・財務相談	会計・財務の具体的な内容など	12

6、雇用・労務	雇用・労務の具体的な内容など	2
7，事業計画	事業内容に関すること	20
8、資金調達	助成金、活動支援金など	15
9，情報発信	広報・PR・情報発信など	41
10、組織運営	組織運営・定款変更・役員変更など	17
11、その他	上記の分類に当てはまらないもの	3
	総計	131

相談者

分類	件数
個人（個人事業主、個人）	36
NPO 法人	10
任意団体	33
社会貢献団体	0
財団法人・社団法人	5
企業・事業所	2
公的機関	17
社会福祉法人・学校法人	2
地縁団体（各地区まちづくり協議会、自治会）	23
その他	3
総計	131

3-2． 各種の相談要請に対するアドバイザーの派遣や専門家の仲介

（1） 各種の相談要請に対するアドバイザーの派遣、専門家の仲介

相談された案件について専門的な支援が必要となった為、専門家及び専門機関へコーディネートを行うことが趣旨で専門家を派遣した。

① 団体運営アドバイザーの派遣

対象団体	一般社団法人がもう夢工房
連携先	薬膳アドバイザー
内容	薬膳メニューの考案や監修を依頼

②新規講座の派遣先の紹介

対象団体	Opull
連携先	i-mart 及び中野地区ボランティアセンター
内容	元作業療法士の方が高齢者の方にかごバッグをやりがいをもって作ってもらいそれを販売できる仕組みを作りたいということで、i-mart のワーク＆ヘルスクラブでのワークショップから活動できるように紹介をした。その後中野ボラセンを紹介した。

③講座の講師派遣

対象団体	蒲生地区まちづくり協議会
連携先	谷田寛次
内容	写真講座の講師をマッチング

3-3． 各種 IT 化への相談支援

御園地区まちづくり協議会	電子回覧板の公式 LINE での案内方法及びオンラインツアーサポート
五個荘地区まちづくり協議会	公式 LINE の中級活用支援
築山清美さん	HP 作成及び更新
建部地区まちづくり協議会	公式 LINE 導入運用支援
東近江市社会福祉協議会	データベース Salesforce 導入支援
公益財団法人三方よし基金	データベース Salesforce オブジェクト導入支援
まちづくりスポット大津	データベース Salesforce オブジェクト導入支援

第４章　人材育成及び研修に関する業務

本章では、市民活動・地域活動を担える人材の育成と団体運営や活動の活性化に資する研修や講座の運営を行う。

４-１．資金獲得、団体運営等に関する講座の開催

各講座の開催を行う。講座の内容は以下の通りである。

（1）　各種団体への出前講座

市内外の団体より広報に関することや情報発信に関することについての出前講座の依頼も増えてきている。以下が内容である。

出前講座の内容

日程	内容	出前先	参加人数
５月９日	まちづくりネットの活動について	コミセン職員研修	15 人
６月 20 日	五個荘地区公式 LINE アカウント	五個荘地区まち協	８人
８月９日	共創塾	地域担当職員・まち協	80 人
９月 12 日	県立大学	学生	40 人
11 月 18 日	県立大学	学生	40 人
12 月７日	建部地区公式 LINE 講座	まち協	８人
１月 24 日	学童保育講師向け研修会	学童保育の講師	40 人
１月 27 日	県立大学	学生	40 人
２月２日	認定 NPO 法人の設立について	NPO 団体など	20 人
３月7日	湖東地区 LINE の使い方講座	まち協	12 人
３月 14 日	湖東地区 LINE の使い方講座	まち協	８人
３月 14 日	建部地区公式 LINE 講座	まち協	15 人

（2）　当団体主催の講座の開催

市民活動に必要なことを学んでもらうために、会計や労務管理、情報発信等の講座の開催を行っている。以下が内容である。

当団体主催の講座内容

日程	内容	参加人数
４月 19 日	助成金・補助金説明会	10 人
５月 26 日	パソコン・スマホ相談会	４人
7月 13 日		３人
9月 14 日		３人
11 月 10 日		２人
３月 16 日		４人

７月 14 日	改正･改正･電子帳簿保存法講座 初心者向けやさしい会計講座	16 人
１月 18 日	情報発信力アップ講座～事業や活動をもっと多くの人に届けよう～	８人

（3）　講座開催支援

市民活動を始められたばかりの人の中には、少ない人数で活動していたり、初めてしてみるときに不安に感じられたりする方もおられる。また、どのように進めていくとよいかまだ、検討している段階の方も多いので、そのような方に支援として行った。

① 薬膳茶講座

薬剤師の経験をもつ方が、薬に頼らないように健康で過ごすことができる方法を地域の人に知ってもらうための講座。食による健康向上を図っている。

薬膳茶講座の内容

開催日程	内容	参加人数
４月 14 日	皮膚疾患編	12 人
４月 16 日	皮膚疾患編	８人
６月 16 日	情緒・感情編	９人
６月 18 日	情緒・感情編	10 人
８月 18 日	肥満編	12 人
８月 20 日	肥満編	８人
10 月 13 日	更年期	12 人
10 月 15 日	更年期	６人
12 月 15 日	冷え性	８人
12 月 17 日	冷え性	５人
２月 16 日	うつ編	８人
２月 18 日	うつ編	７人

② 食育もぐもぐの会

子育て中のお母さんを中心に、健康によい食を日常生活の中に取り入れていくと方法を知ってもらうための講座を開催。親子で学ぶ食育教育や、味噌や麹などの発酵食品の健康への効果などを伝えている。

健康料理教室の内容

開催日時	内容	参加人数
６月 29 日	豆のうどん、炊き込みご飯など	５人
７月 20 日	スパイス料理	７人
８月 31 日	キムチ料理	７人
９月 28 日	発酵料理	７人

12月21日	クリスマス料理	７人
２月22日	味噌を使った料理	５人
３月29日	春の山菜料理	７人

４-２．　未来に向けたまちづくりの担い手育成に関する講座の運営支援

①　中学生議会

目　的：東近江中学生議会は、東近江市の未来を担う青少年の健全育成のため、子どもたちが地域の諸課題への関心を高め、郷土愛を育むとともに、主権者教育及び市政や市議会の仕組みを学ぶ場とすることを目的として実施する。併せて、この取り組みを通して中学生と大人と地域が協働し共に育つようにする。

内　容：

2022年７月16日　任命式・ワークショップ①　テーマ決め＆グループ分け
2022年７月23日　ワークショップ②　テーマ決め
2022年８月24日　ワークショップ③　ヒアリング調査
2022年10月２日　ワークショップ④　質問・通告書の作成
2022年11月６日　中学生議会本番
2022年12月４日　ワークショップ⑤　振り返り

写真　中学生議会の様子

４-３．　コミュニティビジネスの起業及び経営に関するセミナーの開催

① 東近江市コミュニティビジネススタートアップ支援事業の審査会及び成果審査会の開催支援

今年度、東近江市コミュニティビジネススタートアップ支援事業の審査会及び成果審査会の審査員を務める。

＜審査会＞

日時：2022 年７月６日　15：00～17：30

場所：東近江市文化交流センター

＜成果審査会＞

日時：2023 年３月７日　17：30～19：00

場所：SATSUKI―RO

＜採択団体＞

事業名：フリースペース「がりばん楽校」の未来づくりプロジェクト

団体名：一社）がもう夢工房

事業目的：地域の「居場所」としての事業展開を目指す。蒲生岡本地区に存在する「がりばん楽校」は、ガリ版伝承を根底に考えている中で、古民家を再生するためにハード面だけでなくソフト面での充実を図るため、人の出入りを多くし、「ヒト・モノ・カネ」が動くシステム作りを行う。それが「ガリ版伝承」の資金となる。

事業内容：

・ガリ版作品、関連機材の販売事業
・ガリ版体験事業
・企業研修事業
・貸館事業
・子どもの居場所事業
・ガリ版御膳等販売

事業名：びわ湖源流の森　東近江市あらゆる場面で木を使うプロジェクト

団体名：東近江市あらゆる場面で木を使うプロジェクト

事業目的：時代の変化とともに、プレカット住宅建設は伝統的な建築技術に取って代わり大工仕事や木材事業の閉鎖につながった。また、木製品の製造に欠かせない広葉樹は混木として扱われ、伐採、輸送、製造、保管などのコストがかかるため、貴重な資源の利用が困難である。その結果、木材が廃棄されることが多く、必要なときに必要な材料が入手できない。材資源の安定供給のため、上流域のみならず下流域からも近隣の木材の有効活用を呼びかける。

すべてのステークホルダーが協力することで、人々の目的意識を育み、地域の木材の安定供給を促進し、森林や支援環境の重要性を育み、豊かな心と生活能力を育むことができる。地域の木材利用促進、人材育成、地域全体の活性化、課題解決につなげていきたい。

事業内容：

・木育ミニパーク事業
・レンタル事業
・販売事業
・コミュニティビジネス化に向けた新しい事業

4-4．　コミュニティビジネスの事例収集と紹介

東近江市内で取り組まれている事業や団体立ち上げについての情報を収集した。

団体名：Opull
医療・福祉とものづくりを繋ぐ活動を市内各所で実施。高齢者や障がい者に作品の制作を仕事として依頼し、報酬を得ることで生きがいや責任感を感じてもらう活動をされている。フレイル予防の為の編み物教室なども行っている。

団体名：Trip hair salon Al
病気や介護、子育て等により美容院に行けない方向けの訪問美容サービスを開始。情報発信支援を行い、未就学児を持つ個人家庭や市内介護施設からの依頼につながった。

団体名：一般社団法人がもう夢工房　がりばん楽校
現場を訪問しレンタルスペース事業、フリースクール事業、ガリ版・書道体験等の文化教室による施設の活用事例の収集を行った。

団体名：東近江市あらゆる場面で木を使う推進協議会
東近江の木材を利用した遊具等を用いたイベントの実施や木製品の販売を通して市民が地域材に親しむことや、木地師の伝統文化を守る「木育」を目的とした活動をされている。

団体名：だれんち
現場を訪問し、セルフリノベーションの様子や就農・移住支援、年間を通しての農業体験誘致等の構想についての情報を収集した。

４-５．　中間支援組織の人材育成及び能力開発に関する研修の受講

中間支援組織の人材育成に関する研修を以下の通り受講した。学んだことを今後の事業に生かしていきたい。

研修の受講一覧

受講日	内容	場所
４月２２日	ファシリテーター養成スキルアップ講座	能登川コミュニティセンター
４月 28 日	地域の事業化をファシリテートする	Zoom
５月 11 日	小規模多機能自治研修	まちづくりネット東近江
５月２１日	ファンドレイジング	Zoom
６月 17 日	外国人県民への接し方	こらぼしが 21
６月 28 日	非営利組織について	まちスポ
７月 17 日	多文化共生セミナー①(全体研修)	ピアザ淡海
７月 20 日	多文化共生のための事例報告会	Zoom
８月１日	事業展開と資金調達	Zoom
８月４日	多文化共生セミナー②(ラチーノ学院訪問)	ラチーノ学院
８月５日	災害支援ネットワークしが 第２回研究会	草津市立市民交流プラザ
８月 10 日	国際教育教材体験フェア	ピアザ淡海
８月 24 日	ホワイトボード研修会	まちづくりネット東近江
９月 10 日	多文化共生セミナー③(移民・難民について)	ピアザ淡海
10 月４日	ホワイトボード研修	まちづくりネット東近江
11 月２日	ソーシャルビジネスセミナー	Zoom
11 月８日	ホワイトボード研修	まちづくりネット東近江
11 月 13 日	多文化共生セミナー④(能登川モスク訪問)	モスクアンヌール
11 月 25 日	やさしい日本語活用 zoom 講座	Zoom
12 月 17 日	多文化共生セミナー発表会	ピアザ淡海
12 月 21 日	ホワイトボード研修	まちづくりネット東近江
１月６日	「地域循環共生圏」中間支援研究会	Zoom
１月 27 日	MLGs 資金循環ワークショップ	Zoom

２月３日	ホワイトボード研修	まちづくりネット東近江
２月６日	子ども食堂をよりよく運営していくための研修会	Zoom
２月 12 日	だれんちレポート	Zoom
３月 10 日	ホワイトボード研修	まちづくりネット東近江

第５章 活動資金の調達支援に関する業務

本章では、市民活動・地域活動の資金獲得に関する支援について報告する。

５-１． 各種助成金や補助金の情報提供と申請事務等の指導及び支援

（1）助成金獲得に向けた個別相談

助成金獲得のための個別の支援を行う。以下の団体の申請書の書き方や助成金の情報を提供した。

団体・個人名	助成金内容	支援内容
楽楽ひろば	・夏原グランド ・東近江あかね基金 ・東近江市わくわく活動補助金	・申請書の書き方
さぼてんの花	・東近江市わくわく活動補助金	・申請書の書き方
エキサイト	・東近江市わくわく活動補助金	・申請書の書き方
産後ケア	・東近江市わくわく活動補助金	・申請書の書き方
一社）がもう夢工房	・東近江市スタートアップ支援事業	・申請書の書き方
東近江国際交流協会	・未来ファンド淡海	・助成金の紹介

５-２． 東近江市わくわく市民活動支援補助金審査会の運営協力及び採択団体の支援

（1）概要

東近江市わくわく市民活動支援補助金は、市民が主役のまちづくりを推進するため、市民活動団体が自ら企画して実施する活動に対して、市がその経費の一部を助成する補助金制度で、連携し支援する。

（2）採択団体

事業名	団体名
赤ちゃんとお別れされる方のための小さなベビー服作り	さぼてんのはな

あらゆる世代が交流できる図書館とのコラボ事業	楽楽ひろば
「ものづくりを通して、なりたい自分へ」医療・福祉の場や地域でのものづくりワークショップ事業	Opull
こたかりカレーを通じて、笑顔を届けたい	NPO こもれ日小田苅家
おいしい食育	食育の会もぐもぐ

（3）当日までの協力

・広報宣伝

・申請書の書き方支援

・団体の事業内容の広報活動

（4）審査会について

・一次募集

日時：2022 年 6 月 29 日　13：30～17：30

場所：東近江市役所新館 315 会議室

・二次募集

日時：2022 年 10 月 26 日　13：30～15：30

場所：東近江市文化交流会館

（5）団体への支援

事業に関しての相談

・楽楽ひろば

ＳＮＳを使った情報発信支援

・さぼてんのはな

・Opull

チラシ作成

・ＮＰＯこもれ日小田苅家

報告書書き方支援

・食育の会　もぐもぐ

・ＮＰＯこもれ日小田苅家

・さぼてんのはな

５-３．　事業指定寄付制度「にじまちサポーターズ」の運営及び普及

（1）にじまちサポーターズの今年度の状況

昨年度は、新型コロナウイルス感染症による世の中の動きがある中で「にじまちサポーターズ」(以下、にじサポ)を再度検討し、各団体がカスタマイズできる形へ変更をした。今年度は、採択された団体から「にじサポ期間終了後も、継続して寄付活動を行いたい」という声があり、寄付金管理や寄付者の管理の支援を主とした「にじまちマネージャー」を行うこととなった。（にじまちマネージャーについては(5)に記載する）

以下のとおりのスケジュールで企画・運営を行った。

（２）採択団体と寄付額

①採択団体

・聖徳祭り実行委員会　「第 50 回聖徳祭り 2022」

・ＮＰＯ法人喜里　「役割と支え合いのある場～難病応援センター開設に向けて～」

・株式会社ＢＡＳＹＯ　「砂栽培による新しいノウフクにより働きもんを応援したい！」

③ 2022 年度　寄付金額

団体名	目標金額	寄付金額	手数料	振込額（手数料差し引き後）
聖徳祭り実行委員会	1,000,000 円	3,620,918 円	362,091 円	3,258,826 円
ＮＰＯ法人喜里	3,000,000 円	623,028 円	62,303 円	560,725 円
東近江さとやま Nannies (2021 年度採択団体)	300,000 円	160,486 円	16,049 円	144,437 円
びわこジャズ東近江市(2021 年度採択団体)	500,000 円	6,349 円	635 円	5,714 円

※株式会社ＢＡＳＹＯは、2023 年度より寄付集め開始予定。

（３）選考委員会

日時：2022 年４月 27 日　15：30～17：00

2023 年３月９日　10：00～11：00

場所：東近江市文化交流センター　Ａ会議室

内容：にじまちサポーターズの採択団体を決定した。決定にあたっては、選考委員会で応募団体にヒアリングを行った。ヒアリング後、選考委員の評価をもとに採択団体を決定した。

以下の審査項目で審査する。

・事業の目的　・事業の計画性　・地域への波及効果

・寄付制度の理解　・実現能力の有無

選考委員：委員長　可児　卓馬（公益財団法人京都地域創造基金）

委員　菊井　千恵子（ファイナンシャルプランナー）

委員　西川　実佐子（認定 NPO 法人しが NPO センター）

委員　黄地　正治　（一般社団法人八日市まちづくり公社）

（4）採択団体の活動内容

採択団体の活動内容を明記する。

1、聖徳祭り実行委員会

寄付募集期間：2022 年６月１日～7 月 31 日

資金調達方法：クレジット、銀行振込（湖東信、滋賀銀、ゆうちょ）、手渡し

目 標 金 額 ：1,000,000 円

寄 付 金 額 ：3,620, 918 円　個人：27 名、団体：189 団体

活 動 内 容 ：

- 実行委員会内でイベント内容を話し合った（江州音頭、花火、フォトコンテスト）
- チラシ・ポスターを配布し、実行委員の繋がりの事業者へ寄付の声掛け
- 当日の内容をＳＮＳで紹介
- 会場設置物の作業(のぼりや提灯など)
- 2022 年７月 23 日、24 日に聖徳まつりを行った

支援内容：

- ＨＰ作成
- チラシ作成(協賛チラシも)
- ポスター作成
- 寄付申込フォーム作成
- HP や SNS での発信
- 寄付者の管理及び報告
- 寄付者への申込完了、入金完了メール送信
- 寄付者からの連絡対応及びイベントの問合せ対応
- 打合せ及び会議に参加
- お礼状の作成、発送
- チラシ発送作業

2、ＮＰＯ法人喜里

寄付募集期間：2022 年５月１日～2023 年３月 31 日

資金調達方法：クレジット、銀行振込（湖東信、滋賀銀、ゆうちょ）、手渡し、募金箱（設置型、PayPay）

目 標 金 額 ：3,000,000 円

寄 付 金 額 ：593,028 円　個人：55 名

団体：16 団体

活 動 内 容 ：

- チラシのイメージ図を作成
- 喜里の HP 内で寄付の呼びかけ
- 関係団体、事業者へ募金箱設置

・音楽グループわ音として、イベントに参加し、寄付の呼びかけ
・クラウドファンディングの立ち上げ
・寄付専用封筒を作成
・2023 年３月４日に「難病応援センター」を開設した

支援内容：
・イメージ図を元にして、チラシ作成
・寄付申込フォーム作成
・HP や SNS での発信
・寄付者の管理及び報告
・寄付者への申込完了、入金完了メール送信
・お礼状の作成、発送
・チラシ発送作業

3、東近江さとやま Nannies
「東近江市の幼児への自然体験活動「里山保育」の提供」
寄付募集期間：2022 年５月１日～2023 年３月 31 日
資金調達方法：クレジット、銀行振込（湖東信、滋賀銀、ゆうちょ）、手渡し
目 標 金 額 ：300,000 円
寄 付 金 額 ：160,486 円　個人：21 名、団体：４団体
活 動 内 容 ：
・寄付チラシ相談
・コロナ禍のため 2022 年度から本格的に寄付集めを開始する。
・各イベントに募金箱を設置し、寄付集め

支援内容：
・相談をもとに、チラシ作成
・寄付申込フォーム作成
・HP や SNS での発信
・寄付者の管理及び報告
・寄付者への申込完了、入金完了メール送信
・お礼状の作成、発送

4、びわこジャズ東近江実行委員会
「びわこジャズ東近江 2022」
寄付募集期間：2022 年８月１日～2023 年３月 31 日

資金調達方法：クレジット、銀行振込（湖東信、滋賀銀、ゆうちょ）、手渡し
目 標 金 額 ：500,000 円
寄 付 金 額 ：6,349 円　個人：1 名、団体：0 団体
活 動 内 容 ：
- 2021 年 8 月 19 日　びわこジャズ 2021 の中止を発表→2022 年度に寄付集め開始
- チラシを自主作成
- 2022 年 9 月 24 日、25 日に開催。募金箱を用意し、寄付を呼びかけた。

支援内容：
- 寄付申込フォーム作成(自主作成チラシへ記載)
- 寄付申込フォーム作成
- HP や SNS での発信
- 寄付者の管理及び報告
- 寄付者への申込完了、入金完了メール送信
- お礼状の作成、発送

（5）にじまちマネージャー

1、背景・目的

昨年度は、新型コロナウイルス感染症による世の中の動きがある中で「にじまちサポーターズ」(以下、にじサポ)のあり方を再度検討し、現代社会に合わせた各団体がカスタマイズできる「にじサポ」へ変更をした。その結果、多くの寄付を集めることに成功した。そんな中で寄付活動終了後に採択団体から「今後も継続して寄付活動を行いたい」という声があった。にじサポの制度は継続事業に対応していないため、これまでは単年で支援を終了しており、団体のみで寄付活動を行うとなると、寄付金管理、寄付者管理などが難しいのが実情である。そんな団体を支えるため、過去ににじサポに採択された団体限定の支援として「にじまちマネージャー」を企画した。

2、内容

①名称　にじまちマネージャー

②条件　過去に「事業指定寄付制度にじまちサポーターズ」に採択された事業であること

③主な支援内容　・寄付金と寄付者の管理
・お礼状作成と送付(送付費は実費請求)

④にじまちサポーターズとの違い
- 手数料は 10%(にじまちサポーターズと同じ)
- 下記、支援内容は実費請求とする。

（チラシ作成費用・印刷代行費用、送付費用・送付代行費用、お礼状送付費用、クレジットカード決済手数料、ＨＰ管理、ＳＮＳ支援、）

（6）にじまちマネージャー「寄付募集団体と寄付額」

①寄付募集団体

・コトナリエ実行委員会　「コトナリエ 2022」
・近江鉄道映画制作実行委員会　「映画ガチャコン　第２弾」
・延命山・桜プロジェクト実行委員会「延命山桜プロジェクト」

②2022 年度　寄付金額

団体名	目標金額	寄付金額	手数料	振込額（手数料差し引き後）
コトナリエ実行委員会	500,000 円	1,997,200 円	199,720 円	1,797,480 円
近江鉄道映画制作実行委員会	2,000,000 円	2,408,550 円	240,855 円	2,167,695 円
延命山・桜プロジェクト実行委員会	1,500,000 円	414,765 円	41,477 円	373,289 円

（7）にじまちマネージャー「寄付募集団体の活動内容」

採択団体の活動内容を明記する。

1、コトナリエ実行委員会

寄付募集期間：2022 年５月 24 日～8 月 31 日
資金調達方法：クレジット、銀行振込（湖東信、滋賀銀、ゆうちょ）、手渡し
目 標 金 額 ：500,000 円
寄 付 金 額 ：1,997,200 円　個人：７名、団体：144 団体
活 動 内 容 ：

・チラシ・ポスターを配布し、実行委員の繋がりの事業者へ寄付の声掛け
・お店や事務所へ募金箱の設置
・実行委員会内でイベント内容を話し合った（電飾の内容、ステージ、花火、出展物、大抽選会）
・当日の内容をＳＮＳで紹介
・2022 年７月 30 日～8 月 14 日にコトナリエ 2022 を行った。

支援内容：

・ＨＰ作成

・チラシ作成
・ポスター作成
・かき氷券、ジェラート券作成
・寄付申込フォーム作成
・HP や SNS での発信
・寄付者の管理及び報告
・寄付者への申込完了、入金完了メール送信
・寄付者からの連絡対応及びイベントの問合せ対応
・打合せ及び会議に参加
・お礼状の作成、発送
・チラシ発送作業

2、近江鉄道映画制作実行委員会

寄付募集期間：2022 年７月１日～11 月 30 日
資金調達方法：クレジット、銀行振込（湖東信、滋賀銀、ゆうちょ）、手渡し、募金箱（設置型、PayPay）
目 標 金 額 ：2,000,000 円
寄 付 金 額 ：2,408,550 円　個人：216 名、団体：36 団体
活 動 内 容 ：
・第２弾のＰＲとして記者会見を行った
・ＳＮＳで発信
・実行委員の関係者、関係団体、事業者へ寄付の呼びかけ
・　第１弾の各所上映の際に寄付の呼びかけ、ガチャコン祭りなどのイベント時に寄付の呼びかけ
・スクリーン駅の由来となっている大日本スクリーン製造株式会社へ訪問し、寄付の呼びかけ
・2023 年４月 16 日に八日市文化芸術会館にて初上映を行う。

支援内容：
・HP や SNS での発信
・チラシ作成
・ポスター作成
・寄付申込フォーム作成
・寄付者の管理及び報告
・寄付者への申込完了、入金完了メール送信
・寄付者からの連絡対応及びイベントの問合せ対応
・打合せ及び会議に参加、Ｚｏｏｍ支援

・お礼状の作成、発送
・チラシ発送作業

2、延命山・桜プロジェクト実行委員会

寄付募集期間：2022 年 11 月 1 日～2023 年 3 月 31 日
資金調達方法：クレジット、銀行振込（湖東信、滋賀銀、ゆうちょ）、手渡し、募金箱（設置型、PayPay）
目 標 金 額 ：1,500,000 円
寄 付 金 額 ：414,765 円　個人：38 名、団体：14 団体
活 動 内 容 ：
・第１弾の寄付者へ連絡
・ＨＰの増設
・実行委員の関係者、関係団体、事業者へ寄付の呼びかけ
・2023 年 3 月 4 日に第２回目の植樹イベントを行う。

支援内容：
・第１弾寄付者への発送作業
・ＨＰ増設、ボタンの追加など
・HP や SNS での発信
・チラシ作成
・寄付申込フォーム作成
・寄付者の管理及び報告
・寄付者への申込完了、入金完了メール送信
・お礼状の作成、発送
・チラシ発送作業

5-4.　「にじまちサポーターズ」の評価と持続可能な制度構築に向けた検討

にじまちサポーターズ検討委員会
・2022 年度より「にじまちマネージャー」を行うこととなった。

5-5.　多様な資金調達手法の調査及び研究

（1）事業指定寄付制度
「にじまちサポーターズ」
当団体が運営している寄付を集めて、事業を行うもの
（2）冠基金

「東近江の森と人をつなぐあかね基金」
「東近江・新型コロナ対策基金」など
公財）東近江三方よし基金が運営している、大口の寄付をテーマ毎に集めて、地域の活動団体に助成金として運用するもの。
（3）社会的投資促進事業
「東近江市版 SIB」
コミュニティビジネス事業の補助金を活用して、社会的投資を促すもの
（4）提携融資制度
「ヴィーナス」
湖東信用金庫と公財）東近江三方よし基金が運用している融資サービス。公益性の評価を行い、利子補給を実施する。
（5）遺贈による不動産の活用
旧岡村邸の活用を行う。

５-６． 公益財団法人東近江三方よし基金との連携

市内にある、同じ中間支援団体である公財）東近江三方よし基金との連携を行いながら、活動を進めている。主な役割分担として、資金的支援を公財）東近江三方よし基金が行い、非資金的支援として当団体が担っている。その中で、適時情報交換を行いながら、市内で必要な仕組みや支援内容を検討している。

公財）東近江三方よし基金理事会に出席

日程	内容
６月３日	・2021 年度事業報告　決算報告 ・2022 年度事業計画　予算　など ・評議会の開催について
10 月 26 日	・６年間の成果の見える化と今後の方向性について ・休眠預金活用事業：ＮＰＯ法人碧いびわ湖との連携について
３月 22 日	・2023 年度事業計画 ・2023 年度事業予算 ・６年間の成果の見える化のワークショップ

第６章 交流促進と協働推進に関する業務

本章では、市民活動・地域活動を促進するため、分野を超えた連携と協働推進を支援する。

６-１． 多分野連携で市民活動・地域活動を活性化するための交流会の開催

（1）地域の様々な人が集まり、交流会の開催を行った。今年度は、多文化共生の視点から、以下の交流会を行った。

◎多文化サロンの開催

８月５日	韓国料理を作ってみよう	参加者　３名
８月29日	タイ料理をつくってみよう	参加者　４名
９月16日	世界のゲームをたのしもう	参加者　10名
10月22日	英語でクッキング	参加者　４名
12月24日	クリスマスパーティー	参加者　８名

６-２． まちづくりに関わる多様な主体間の連携及びネットワークの構築

（１）市民活動支援センター意見交換会

滋賀県内の中間支援センターで働くスタッフ間の研修や情報交換の場として開催されている。今年度は、予定が合わず１回しか参加ができなかった。

①第３回市民活動支援センター意見交換会

日時：2022年２月16日

13：30～16：00

内容：明石コミュニティ事業団より事例紹介

各地域の活動紹介

（2）災害支援市民ネットワークしが

①災害支援市民ネットワークしが2022年度第１回研究会

日時：2022年6月７日　13:30～16:30

会場：滋賀県立県民交流センター205会議室

②災害支援市民ネットワークしが2022年度第２回研究会

日時：2022年８月５日　13:30～16:30

会場：草津市立市民交流プラザ　中会議室

（3）東近江市市民協働推進委員会

少子高齢化・財政悪化など社会経済情勢の大きな変化や市民ニーズが多様化・複雑化

する中、公共的な課題を解決するにはこれまでのような行政サービスだけでは対応が困難である。公共分野に市民が積極的に参加すると共に、市民と行政がそれぞれの特性を生かして相互の理解と信頼の下に、連携・協力して地域課題の解決に取り組む「市民と行政の協働によるまちづくり」が求められている。委員として参加する。

日時：2022 年６月 28 日 19:00～21:00
　　2022 年９月 13 日 19:00～21:00
　　2022 年 11 月１日 19:00～21:00
　　2023 年１月 23 日 19:00～21:00
　　2023 年３月 15 日 19:00～21:00

会場：東近江市役所

６-３．　活動団体や事業者と行政との協働の促進及びコーディネート

日時	団体/行政	内容
４月 13 日	こども食堂活動個人/福祉総合支援課	貧困家庭の支援や働き口の支援について
６月 22 日	NPO 法人愛のまちエコ倶楽部/管財課・環境政策課	BDF の市内活用について
９月 23 日 24 日	トイボックス/森と水政策課	びわ湖東近江 SEATOSUMMIT 2023 ライブ配信協働

６-４．　ボランティア希望者と受け入れ団体のコーディネート

外国人自動学習支援ボランティアを五個荘小学校と八日市北小学校へコーディネートした。

市民の方から、地域の外国人住民が生活に困っている様子だったので、自宅で保管していた引き出物の食器や家電等を必要な方に届けられないかと相談があった。東近江市文化交流センター内に、来館者が寄付品を自由に持ち帰ることが出来るコーナーを設置。日本語教室受講の為に来館した外国人住民等に引き取られ、多くの物の循環を担うことが出来た。

６-５．　市民活動を促進するフォーラムやイベントの開催に向けた調査、検討、企画等

市内外で開催されているフォーラムやイベントに参加し、当団体で開催するイベントや地域で開催されるイベントに生かすことができるように、調査を行う。以下、参加したイベントの一覧である。

参加イベント一覧

開催日	開催イベント	活用できるポイント
４月 24 日	BIWA-MORI 市	・ママパスポートの編集者から東近江・日野地域の冊子作成者と繋がり、わくわくこらぼ村の出店につながる。
４月 24 日	映画ガチャコン上映会	・寄付者との交流 ・㈱近江鉄道との連携
４月 27 日	dear earth for future 無料譲渡会	・7/18 のイベントの出店につながる
４月 30 日	50 年森マルシェ	・7/18 のイベントの出店につながる
５月３日	ごはんとおやつ sou3 周年プチマルシェ	・7/18 日のイベントの出店につながる
５月 21 日	あちゃはぴマルシェ	・7/18 のイベント出店につながる
７月 23 日	聖徳祭	・次年度の多文化フェスタの企画運営につなげる
８月 18 日	中野地区ゲームサロン	・多文化サロン実施につながる
９月 17 日	難病応援センター設立	・当事者との交流
９月 24 日	SEA TO SUMMIT シンポジウム	・参加者との交流
10 月 10 日	50 年森フェスタ	・わくわくこらぼ村ワークショップ出店につながる

６-６．　東近江市協働ラウンドテーブル運営委員会の運営

協働を進めていくためには、互いの情報や課題を共有することが必要である。また、地域で何か活動をしたい人にも、地域の活動の見える化は必要なことであり、そのためにも様々な意見を出し合い、共有する場が必要である。そのために必要なスキルや仕組みを東近江市協働ラウンドテーブル運営委員会で検討を行っている。

（1）　協働ラウンドテーブルの運営委員会の開催

協働推進委員会より派生し、ラウンドテーブルの仕組み及び、実践・試行を行う委員

会である。定期の委員会は、毎月第４火曜日の 19：15～21：15 にまちづくりネット東近江の事務所で行っている。近年では、Zoom でも参加できるようにし、多くの人が参加しやすい会議の進め方も考えている。

協働ラウンドテーブル運営委員会の会議報告

月　日	場　所	内　容
４月 12 日	まちづくりネット東近江事務所	・3/15 日開催のまちのわ会議の振り返り
５月 24 日	まちづくりネット東近江事務所	・中学生議会について ・湖東地区のまちのわ会議について
６月 29 日	まちづくりネット東近江事務所	・中学生議会について ・湖東地区のまちのわ会議の確認
７月 27 日	まちづくりネット東近江事務所	・中学生議会について ・湖東地区のまちのわ会議の振返り
８月 30 日	まちづくりネット東近江事務所	・中学生議会について ・蒲生地区のまちのわ会議について
９月 27 日	まちづくりネット東近江事務所	・蒲生地区のまちのわ会議について ・湖東地区のまちのわ会議（第２弾）
10 月 25 日	まちづくりネット東近江事務所	・蒲生地区のまちのわ会議の振返り ・湖東地区のまちのわ会議（第２弾） ・五個荘地区まちのわ会議について
11 月 29 日	まちづくりネット東近江事務所	・協働の解体新書　まちのわ会議 ・湖東地区のまちのわ会議（第２弾） ・五個荘地区まちのわ会議について
12 月 27 日	eN	・協働の解体新書　まちのわ会議
１月 25 日	雪のため中止	
２月 28 日	まちづくりネット東近江	・湖東地区まちのわ会議（第３弾） ・協働の解体新書　まちのわ会議
３月 28 日	まちづくりネット東近江	・次年度の事業計画 ・平田地区まちのわ会議について ・板書研修会について

（2）　まちのわ会議の開催

地域課題を解決に向けて、課題を共有化する仕組みとして「まちのわ会議」を行っている。東近江市ラウンドテーブル運営委員会では、「まちのわ会議」を定期的に開催し、会議の進行役や板書役を務め、会議の進行を行っている。外部からの依頼も増え、一定の事業収入を得ながら活動を進めることができてきている。以下は、今年度開催したまちのわ会議の内容である。

① 湖東地区の地域生活全体の課題を整理しよう！～地域支援に関わる方の視点で～
目　的：湖東地区で地域支援に関わる方が集い、地域生活全体の課題を整理する。
開催日：令和４年７月２ 日 14:00～16:00（受付 13:30～）
会　場：湖東コミュニティセンター　多目的ホール
定　員：50 名　　当日参加者：44 名
開催方法：簡易ワールドカフェ方式
当日のプログラム：

14：00～14：05	あいさつ
14：05～14：25	湖東地区の地域資源 東近江市社会福祉協議会　金子さんより
14：25～14：55	湖東地区の強み、弱み、特色を考えるワークショップ① グループごとに自己紹介後各テーブルで話し合い
14：55～15：05	課題を抽出
15：05～15：10	グループ分け
15：15～15：35	湖東地区の強み、弱み、特色を考えるワークショップ② 自己紹介　①ででた意見を説明 各グループで話し合い 課題の抽出
15：35～15：45	課題の共有
15：45～15：50	まとめ
15：50～16：00	あいさつ

会議の様子①：全体の話し合いの様子

会議の様子②：グループワーク

② がもうを若い人でいっぱいにしたい
～アイディアから見つける実現への第一歩～in 蒲生
目　的　蒲生地区の人口減少に伴い、様々な課題がある。その課題を団体や個人の方が集い、自分自身の経験から困り事として挙げてもらい、全体で共有する。その中で、困り事を地域全体の課題としてとらえ、解決するためのアイディアを出しあうことで、課題解決のヒントとなるような場にする。
日　時：2022 年 10 月 21 日 19：00～21：00
会　場：蒲生コミュニティセンター

参加者：40 名
開催方法：ワークショップ形式
19：00～19：05　あいさつ
19：05～19：10　地域の現状について
19：10～19：15　まちのわ会議の進め方
19：15～19：45　テーマごとに解決できるアイデアを出し合う①
19：45～19：50　休憩
19：55～20：30　テーマごとに解決できるアイデアを出し合う②
20：30～20：45　発表
20：45～20：50　まとめ
20：50～21：00　あいさつ

会場の様子①　全体の様子

会場の様子②　テーマの話合いの様子

③　湖東地区の地域生活全体の課題を整理しよう第２弾
目　的：湖東地区で地域支援に関わる方が集い、第１弾で抽出した「地域で検討しないと解決できない課題」に対して、第２弾では抽出した課題の原因を探った後、課題の整理を行う。第３弾では、整理された課題を解決する為に、具体的にどの団体と連携してどのような取り組みを実施するのか導きだし、地域の中で解決に向けた取り組みができるようにする。又課題に対する取り組み内容を湖東地区のまちづくり計画に反映させて、実践に繋げられるようにする。
日　時：2022 年 11 月 12 日 13：30～15：30
会　場：湖東コミュニティセンター
参加者:：40 名
開催内容：ワークショップ形式
13：30～13：35　あいさつ
13：35～13：45　ふりかえり
13：45～14：15　課題に対して問題と原因を考える
14：15～14：30　地域で検討しないと解決できない課題を再抽出
14：30～15：00　課題を解決するために取り組むことを考える

15：15～15：20　まとめ
15：20～15：30　あいさつ

会場の様子①　ワークショップの様子

会場の様子②　板書

④ 五個荘地区こども円卓会議

目　的 「このまちで心豊かに住み続けたい 」と思えるまちづくりと、子どもたち　の未来に向けて必要な地域の教育活動の方向性を探る「五個荘地区 子ども円卓会議」を開催し、子どもの未来について、これからのまちづくりについて、五個荘地区に住む皆さんで話し合うことを目的とする。（詳細な教育活動の方向性を協議するのではなく、こんなまちにしたい、子どもたちの未来など夢を語り合える場とする。）

日　時：2022 年 12 月 11 日　10：00～12：00
会　場：五個荘小学校
参加者：45 名
開催内容：ワークショップ形式
10：00～10：05　あいさつ
10：05～10：20　話題提供
10：20～10：30　自己紹介
10：30～10：40　個人ワーク「こんなまちにしたい」「こどもたちの未来」
10：40～11：30　グループワーク
11：30～11：50　発表
11：50～12：00　あいさつ

会場の様子①　グループワーク

会場の様子②　発表

⑤ 湖東地区まちのわ会議第３弾

目　的　湖東地区で地域支援に関わる方が集い、第１弾、第２弾で抽出した、将来この　地域を良くするために取り組むべき「課題」「問題」「原因」、「課題解決のアイデア（優先順付）」についての振り返り後、第３弾では、課題解決のアイデアをどのような団体が連携して、いつまでに取り組みを行うのかを導き出し、地域の中で解決に向けた取り組みが実践できるようにする。

日　時：2023 年 1 月 28 日　13：30～15：30

会　場：湖東コミュニティセンター

参加者：50 名

開催内容：ワークショップ形式

13：30～13：35　あいさつ

13：35～13：45　ふりかえり

13：45～15：00　グループワーク

15：00～15：15　発表

15：15～15：20　まとめ

15：20～15：30　あいさつ

会場の様子①　全体の様子

会場の様子②　グループワーク

⑥ 協働の解体新書

目　的：いろいろな人たちが市民活動、地域活動に関わってもらうためにどんなことを考えたら良いのか。参加の仕方、興味をもってもらうためには…など、それぞれのスキームの中で、アイデアを出してみる。

日　時：2023 年 1 月 30 日　19：00～21：00

会　場：東近江市役所

参加者：50 人

開催内容：ワークショップ形式

19：00～19：05　あいさつ

19：05～19：25　協働について

19：25～20：00　各グループの話合い

20：00～20：10　休憩

20：10～20：40　各グループの話合い
20：40～21：00　共有
21：00～21：15　あいさつ

会場の様子①　全体

会場の様子②　グループワーク

6-7．　小規模多機能自治の推進に係るまちづくり協議会等への運営支援

（1）愛東地区策定委員会の開催支援

事業目的：愛東地区まちづくり計画策定から数年立ち、今後のまちづくりを進めるための計画づくりを行っている。愛東地区の計画なので、様々な人の意見や想いをこめた計画にしたいと考え、これまでのまちづくりの歴史やこれからのまちづくりに必要となることを住民や関係者と協議を行い、進めてきた。2022 年度は、４回の愛東地区まちづくり計画策定委員会を開催し、これからのまちづくりにつながる話し合いを進める。

事業内容：

2022 年 11 月９日
第１回　愛東地区まちづくり計画策定委員会
2022 年 11 月 30 日
第２回　愛東地区まちづくり計画策定委員会
2022 年 12 月 16 日
第３回　愛東地区まちづくり計画策定委員会
2023 年２月 24 日
第４回　愛東地区まちづくり計画策定委員会
他打合せ９回

（2）湖東地区まちづくり協議会

今年度は、まちのわ会議を通じて、地域計画の見直しの支援を行った。また、今後の検討に活用してもらうため、まちのわ会議の報告書を作成する。（活動の内容は、第６章 6-6.東近江市協働ラウンドテーブル運営委員会の運営を参照）

６-８．　地域共生社会の実現に向けたテーマごとの中間支援機能との連携

（1）地域共生社会の見える化冊子作成

各地区での地域共生社会の実現に向けて活動を行っている第2層協議体の活動や地域のサロン等を見える化した冊子を作成する。

地区名	冊子名
市辺地区	つながり広辞縁
八日市地区	まちつなぎ八日市
中野地区	なかのがいいね
蒲生地区	がもうだから

（2）ボランティア推進を考える会

日時：2022 年 10 月 6 日 10:00～12:00
2022 年 11 月 21 日 10:00～12:00
2023 年 3 月 15 日 10:00～12:00（勉強会）
2023 年 3 月 17 日 10:00～12:00

住民目線でのボランティアの魅力の発信。地域住民が自分の好きなことや得意なことで生き生きと活動し、そのことで、誰かの喜びになったり、誰かの役に立ったり、自分も誰かの“できる”で助けてもらえるお互い様の関係の構築を目指す。ボランティア同士の交流、一般市民にボランティアに触れ興味を持ってもらうことを目的としたボランティアカフェの企画運営を協働で実施した。

写真　ボランティアカフェの様子

第７章　その他市民活動の促進に関する自主業務

市民活動・地域活動の促進し、市民と行政の協働の推進を図るため、受託者が必要かつ有効と考える事業を自主的に企画、実施する。

７-１．　視察受入れ

まちづくりネット東近江の活動や、市内での活動を市外や県外から来られる方に対して、紹介をしたり、各団体とのコーディネートを行ったりする。

視察対応件数

日程	来訪者	内容	人数
６月22日	守山市	・中間支援組織の立ち上げについて	２名
７月３日	滋賀県立大学 近江環人地域再生学座	・当団体の取組について	８名
10月20日	河西学区	・中野ボランティアセンターについて	15名
11月11日	北海道苫小牧市議会	・あいとうふくしモールについて	５名
12月23日	東海若手起業塾	・一社）がもう夢工房 ・中野ヴィレッジハウス ・TEAM Norishiro ・あいとうふくしモール ・東近江三方よし基金 ・まちづくりネット東近江 それぞれの活動について	８名
１月17日	兵庫県猪名川町	・中間支援組織について	３名
２月12日	特定非営利活動法人えんのわ	・中間支援組織の活動について	10名
２月28日	ＪＡＮＰＩＡ 雲南市 南砺市	・中間支援組織の活動について	６名
３月21日	北海道大学	・中間支援組織の活動について	２名

７-２．　休眠預金助成金活用事業

① 事業名：多様な人や文化、想いがつながるまちづくり

② 中長期のアウトカム

・外国人も誰もがまちの一員として認められる地域

・困った外国人を見たら、話しかける人が増える

・外国人が暮らしやすい地域になっている

・様々な国の文化や価値観などを知り、相互の理解が深まり、様々な意見を出し合いながら、まちづくりが行われている

③ 事業期間：2022 年４月１日～2025 年２月 28 日

④ 活動内容：

◎日本語ボランティア養成講座の開催

11 月 11 日　やさしい日本語教室の開催　　参加者　22 名

11 月 12 日　日本語の教え方講座　　参加者　13 名

11 月 16 日　学習支援の現場を見学しよう　参加者　18 名

◎イベントの開催

せかいの屋台＆ひがしおうみ国際チャリティーフェスタ

日時　　７月 18 日　10：00～16：00

場所　　東近江市文化交流センター

参加者　800 人

◎学習支援ボランティアの立ち上げ

五個荘小学校、八日市北小学校より、外国籍の児童が増えてきていることで、学習支援のボランティアをお願いしたいということになり、９月から五個荘小学校へ。10 月から八日市北小学校へ学習支援を行っている。12 月からは、学習支援ボランティアを募集し、チーム名を「学習支援ボランティアかけはし」とし、活動を行っている。市との協議も行いながら、今後の方向性を探る。

五個荘小学校…毎週水曜日 10：30～12：10

八日市北小学校…毎週金曜日８：45～10：30

ボランティア登録者数：15 名

第８章 評価と課題

８-１． 評価と課題

今年度は、相談業務の中で、助成金を受けて活動を始められる子育て世代の方が多く見られた。コロナ禍で、人とのつながりが希薄化する中で、孤立しがちな子育て世代の方々が、社会とのつながりを求める傾向があった。自分で活動を始めることで、社会とのつながりや多様な課題の解決に向けて動き始められているので、引き続き支援を続けていきたいと考える。その中で、資金調達の一つとして、「事業指定寄付制度にじまちサポーターズ」がある。もう少し、運営する中で、団体の力量や動きを見ながら、それぞれに合った支援方法を考えていきたいと思う。団体ごとに異なる状況があるので、連絡を密にとりながら、必要な支援につなげていきたい。

また、東近江市協働ラウンドテーブル運営委員会が運営する「まちのわ会議」も今年度は、多くの話合いの場をコーディネートすることができた。特に、湖東地区のまちのわ会議では、同じテーマで継続的にかかわることができたので、これまでよりも深いところまで話合いを重ねることができた。継続した話合いの場のコーディネートを行う一つの参考事例になったのではないかと思う。今後も、このように継続した支援が行えるような体制をつくっていきたい。多文化共生のまちづくりを進めるため、学校と連携した事業も開始した。学習支援のボランティアを行う中で、学校現場での現状や子どもたちが学ぶ環境について知ることができ、様々な困難や壁があることがわかり、少しずつ解決できるような取組を行っていきたいと考える。

最後に、2020 年から続くコロナ禍を経験し、様々な課題が見えてきた。また、人々の価値観も変容がみられ、これまで以上に価値観が多様化してきている。これまでのような一つの視点からのまちづくりではなく、様々な人の意見や考えを反映させるためのまちづくりが必要とされる時代になってきている。だからこそ、様々な人が社会との関わりをもち、それぞれの視点や考え方で活動や事業が行うことができる環境が必要であると考える。多くの人の意見に耳を傾け、何が必要なのか臨機応援に対応していけるようにしていきたい。

第2号議案

2022年度 活動計算書

特定非営利活動法人　まちづくりネット東近江

2022年4月1日～2023年3月31日現在 （単位:円）

科目		2021年度決算	2022年度予算	2022年度決算	摘要
収入の部	Ⅰ、経常収入の部				
	1、受取会費				
	正会員会費収入	80,000	150,000	108,000	個人正会員　47名×2,000円　92,000円 団体正会員　7団体×2,000円　14,000円
	賛助会員会費収入	0	50,000	0	
	受取会費　計	80,000	200,000	108,000	
	2、受取寄付				
	寄 付 収 入	4,051,899	1,550,000	9,416,776	にじまちサポーターズ及びにじまちマネージャー寄付金 ・聖徳まつり　3,620,918円 ・近江鉄道映画制作 2,392,550円 ・コトナリエ　1,977,200円 ・難病応援センター　582,028円 ・延命山桜PJ　414,765円 ・さとやまNannies　160,486円 ・びわこジャズ　6,349円 ウクライナ支援　233,600円 まちづくりネット　28,880円
	受取寄付　計	4,051,899	1,550,000	9,416,776	
	3、事業収益				
	事 業 収 入	7,288,770	4,500,000	6,692,483	作業請負費用　4,829,801円 印刷請負費用　812,322円 講師謝金　360,300円 講座参加費　117,500円　他
	受託事業収入	14,408,000	14,408,000	14,408,000	東近江市市民活動支援事業　14,000,000円 東近江市協働のまちづくり推進支援事業　408,000円
	助成金収入	4,764,000	2,828,460	2,828,460	
	補助金助成金収入	0	0	45,000	東近江市中小企業退職金制度等掛金補助金
	事業収益　計	26,460,770	21,736,460	23,973,943	
	4、その他収益				
	雑 収 入	2,135	50,000	5,468	
	受取利息収入	84	1,000	84	預金通帳の利息
	その他収益　計	2,219	51,000	5,552	
	経常収入　計	**30,594,888**	**23,537,460**	**33,504,271**	
費用の部	Ⅱ、経常費用の部				
	1、事業費				
	(1)人件費				
	給料手当	10,731,973	11,891,200	11,835,266	事務局員　5名分
	アルバイト給与	395,550	0	0	
	法定福利費	1,628,156	1,540,460	1,825,485	事務局員　5名分
	人件費　計	12,755,679	13,431,660	13,660,751	
	(2)その他経費				
	支払い助成金	4,486,033	1,350,000	9,397,566	にじまちサポーターズ及びにじまちマネージャー支払い ウクライナ支援
	外 注 費	1,543,432	500,000	369,400	東近江地域視察受入れ費用
	講師謝金	767,947	582,000	382,978	講座の講師謝金等
	講師交通費	25,120	0	8,260	講師の交通費
	印刷経費	896,645	930,000	1,166,609	各種チラシ、広報誌にじまち印刷代等
	旅費交通費	0	90,000	99,800	私有車利用時の交通費
	事務消耗品費	1,030,126	400,000	687,968	事務所の消耗品購入費等
	通 信 費	431,979	260,600	349,907	チラシや広報誌送付代等
	備品購入費	1,200,005	100,000	59,914	スクリーンの購入等
	会 場 費	1,600	100,000	91,990	わくわくこらぼ村、多文化サロン会場費用等
	広告宣伝費	202,075	80,000	20,635	多文化フェス広告、わくわくこらぼ村広告等
	燃 料 費	72,978	105,000	0	私有車利用時の交通費を旅費交通費として計上
	研 修 費	30,015	130,000	84,455	職員の研修費用
	支払手数料	162,158	16,000	163,011	にじまちサポーターズ支払い手数料等
	会 議 費	123,686	35,000	50,669	Zoom有料プラン使用料等
	保 険 代	2,174	0	21,354	年間イベント保険、わくわくこらぼ村保険代
	賃 借 料	0	0	14,100	わくわくこらぼ村駐車場借用のため
	景 品 費	126,105	0	36,323	わくわくこらぼ村景品費
	雑 費	0	61,000	0	
	その他経費計	11,102,078	4,739,600	13,004,939	
	事業費　計	23,857,757	18,171,260	26,665,690	
	2、管理費				
	(1)人件費				
	給料 手当	2,674,795	2,431,000	2,958,816	事務局員　5名分
	法定福利費	407,039	300,000	456,371	事務局員　5名分
	福利厚生費	41,600	40,000	50,760	互助会会費、職員の健康保険料金
	通勤交通費	399,020	0	523,310	事務局員　5名分
	退職金引当金	0	480,000	921,000	
	人件費　計	3,522,454	3,251,000	4,910,257	
	(2)その他経費				
	印刷経費	112,097	200,000	138,638	事務所コピー機の印刷代
	通 信 費	87,218	153,000	87,951	インターネット接続料、電話代金等
	水道光熱費	262,202	400,000	204,209	電気代　76,427円 水道代　52,745円 灯油　64,680円 自動販売機電気代　10,357円
	リース料	122,608	106,800	105,600	事務所のコピー機
	事務消耗品費	0	50,000	0	事業費に計上
	租税公課	961,900	1,070,400	950,000	消費税の支払い
	支払手数料	3,740	0	0	振込手数料
	支払利息	0	25,000	0	
	負 担 金	0	60,000	110,143	施設利用のための負担金
	雑 費	64,727	20,000	68,602	各種団体の会費等
	予 備 費	0	30,000	0	
	その他経費 計	1,614,492	2,115,200	1,665,143	
	管理費　計	5,136,946	5,366,200	6,575,400	
	経常費用　計	**28,994,703**	**23,537,460**	**33,241,090**	
税引前当期正味財産増減額		**1,600,185**	**0**	**263,181**	
法人税、住民税及び事業税		**72,200**	**0**	**72,200**	
当期正味財産増減額		**1,527,985**	**0**	**190,981**	
前期繰越正味財産額		5,662,329	0	7,190,314	
次期繰越正味財産額		**7,190,314**	**0**	**7,381,295**	

特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

特定非営利活動法人まちづくりネット東近江　　［税込］（単位：円）

全事業所　　2023年 3月31日 現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
（現金・預金）		未払金	1,610,943
小口現金	603,938	預り金	53,360
普通預金	8,144,028	未払法人税等	72,200
現金・預金 計	8,747,966	未払消費税	469,200
（売上債権）		流動負債 計	2,205,703
未収金	839,032	負債の部合計	2,205,703
売上債権 計	839,032	正味財産の部	
流動資産合計	9,586,998	【正味財産】	
		正味財産	7,381,295
		（うち当期正味財産増加額）	190,981
		正味財産 計	7,381,295
		正味財産の部合計	7,381,295
資産の部合計	9,586,998	負債・正味財産の部合計	9,586,998

特定非営利活動に係る事業会計財産目録

特定非営利活動法人まちづくりネット東近江　　［税込］（単位：円）

全事業所　　2023年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】		
（現金・預金）		
小口　現金	603,938	
その他補助	(603,938)	
普通　預金	8,144,028	
郵便貯金	(895,525)	
湖東信用金庫	(3,607,551)	
滋賀銀行	(430,197)	
休眠　②	(2,458,193)	
寄付用　湖東信金	(489,562)	
桜PJ	(263,000)	
現金・預金 計	8,747,966	
（売上債権）		
未　収　金	839,032	
売上債権 計	839,032	
流動資産合計		9,586,998
資産の部　合計		9,586,998

《負債の部》

【流動負債】		
未　払　金	1,610,943	
預　り　金	53,360	
所得税	(53,360)	
未払法人税等	72,200	
未払消費税	469,200	
流動負債　計		2,205,703
負債の部　合計		2,205,703
正味財産		7,381,295